

第2期大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業担当課による評価検証（令和2年度末）

令和3年7月

基本目標1 魅力あるしごと創り「地域資源の活用と既存企業との連携で魅力あるしごとを創る」

数値目標 商工会員数 351人 ➡ 2020年実績 356人

1	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	森林課	施策1、2による地域材活用製品等の売上額		地域材を活用した製品の開発・販売を目指すことを目的に、町内の林業(生産・加工・流通等)を行っている事業者の団体が取組むこととなりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、予定していた研修会や視察を行うことができず、また、会議も数回に留まり、令和2年度は本格的な検討に至ることができませんでした。	毎月、定例の会議を行う機会を確保し、製品開発に向けた検討会や研修会等を実施し、試作品の作成に向けた取組を行っていく予定です。
プロジェクト	森林資源の活用による持続可能な森づくり	【2024年】 1,500万円/年			
概要	ユネスコエコパークに認定されている豊かな森林資源を活かした地域の産業力強化を目的として、森林資源(人工林、天然林)を活用した製品等の開発や販路開拓など、新たな「しごと創り」と「稼ぐ仕組みづくり」を支援することで雇用の創出に繋がります。大台町で生産された木材や森林資源の利活用を促進するため、木製品等の開発や流通販売体制の整備を支援し、ユネスコエコパークから発信される付加価値の高い商品を提供します。	実績			
		2020(R2)	0万円/年		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

2	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	産業課	施策2、3、4による売上額(累計)		奥伊勢ブランドとして展開している農作物(奥伊勢ゆず、奥伊勢ネギ、奥伊勢米つぶら)の売上額は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの一定の売上額がありました。他分野との連携では、農福連携によるハウス農業で生産された葉物野菜が順調に売上額を伸ばしています。一方、農業体験についてはコロナ禍により感染防止対策の観点から実施することができませんでした。トータルでは、順調に売上額を伸ばしており、引き続き、これらの取組を充実させて目標達成に努めてまいります。	奥伊勢ブランドの統一基準の協議を進めながら新たな品目の構築を進めます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった農業体験のプログラム化を進めます。他分野との連携についても農福連携の取組を他地域へ広げてまいります。
プロジェクト	奥伊勢FARMLAND大台	【2024年】1,500万円			
概要	<p>農業体験のプログラム化や町内で生産された生産物のブランド化を図り、新規就農者等の担い手確保や高付加価値農業を推進し地域の活性化を図ります。</p> <p>大台町全域を一つの農場と位置づけ、担い手の確保に対応する支援や生産物のブランド化、農業体験プログラム化を図ることで多様な人材や農業収入の確保を図ります。</p> <p>更に、既存の取組みに加えて町の栽培重点作目を「奥伊勢ブランド」として付加価値を高め、多様なニーズに応じた販路の拡大を進めることで町全体の農産物出荷額の増加に繋がります。</p>	実績			
		2020(R2)	1,234万円		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
2024(R6)					
計					

基本目標2 魅力あるライフスタイルの構築「恵まれた環境を活かしたライフスタイルの構築をする」

数値目標 出生数 50人 ➡ 2020年実績 45人

3	総合戦略の取組概要	KPI	R2年度の評価	R3年度の方向性	
担当課	町民福祉課	大台町は子育てがしやすいと思う人の割合	不妊・不育症に悩む方に対して、その治療費の助成事業を行うことで経済的な負担軽減を行い、子どもを産み育てやすい環境づくりをしました。 子育て支援センターと連携して乳児訪問や乳幼児相談を行い、相談しやすい体制づくりを行いました。	不妊・不育症に悩む方に対しての助成事業では、国の支援拡充に合わせて大台町も拡充を行い、経済的な負担軽減を図ります。 子育て支援センターや子育て支援室ほし組と連携して、相談しやすい体制づくりを行い、子育てしやすい環境づくりに努めます。	
プロジェクト	すくすく育つ～各ステージに応じた切れ目ない支援～	【2024年】 75%			
概要	結婚から妊娠、出産、子育てと各ステージに応じた切れ目ない支援を行い、大台町で結婚・出産・子育てをしたい人を増やすとともに子どもたちの郷土愛を育み、一度は大台町を離れても将来は町内に定住したいと思う人材を育成します。	実績			
		2020(R2)			—
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

4	総合戦略の取組概要	KPI	R2年度の評価	R3年度の方向性										
担当課	町民福祉課	CLMの活用数	多気郡三町で児童発達支援センター共同設置に向け準備を進めました。 保育所や学校訪問を実施し、関係機関と連携を強め、児童虐待予防に努めました 保育園で実施するCLMの対象に加配児を追加実施しました。	児童発達支援センターが設置されました。 子育て支援センターに保育士を増員し、事業未利用者への支援を充実していきます。 各保育園で実施するCLMをアドバイザーの保育士の助言を得ながら副園長が中心となって進めます。										
プロジェクト	豊かな成長と発達～心身ともに豊かな子どもを育てる支援と虐待防止～	【2024年】 8件												
概要	<p>心身の発育・発達に課題のある子どもや障がいがある子どもたちに、日常生活に必要なスキルを身に付けられるよう専門職員等による療育・訓練を提供し、地域で安心して暮らせるよう支援します。 子どもを虐待から守るため、関係機関が連携して発生予防と早期発見、早期対応に取り組めます。</p> <p>※CLMは、保育や教育の現場で気になる子の行動などを観察し、「個別の指導計画」を作成するために、三重県立子ども心身発達医療センターが開発した子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。</p>	<p style="text-align: center;">実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="925 424 1061 464">2020(R2)</td> <td data-bbox="1061 424 1314 464">16件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 464 1061 504">2021(R3)</td> <td data-bbox="1061 464 1314 504"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 504 1061 544">2022(R4)</td> <td data-bbox="1061 504 1314 544"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 544 1061 584">2023(R5)</td> <td data-bbox="1061 544 1314 584"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 584 1061 624">2024(R6)</td> <td data-bbox="1061 584 1314 624"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 624 1061 727" style="text-align: center;">計</td> <td data-bbox="1061 624 1314 727"></td> </tr> </table>			2020(R2)	16件	2021(R3)		2022(R4)		2023(R5)		2024(R6)	
2020(R2)	16件													
2021(R3)														
2022(R4)														
2023(R5)														
2024(R6)														
計														

基本目標3 魅力と住みやすいまちを発信し、ひとを惹きつける

数値目標 観光入込客数 570,000人 ➡ 2020年実績 435,466人

社会増減数 -30人 ➡ 2019年実績 -53人

5	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	産業課	道の駅消費額		新型コロナウイルス感染症の影響により観光施設の利用者は激減し、道の駅奥伊勢おおだいにおいても国の緊急事態宣言により、閉館や時短営業をせざるを得ない状況が続くなど大きく影響を受け、目標値を大きく下回りました。	新型コロナウイルス感染症の影響は、まだまだ続くことが予想されますが、徹底した衛生管理と三密回避の感染防止対策を実施し、安心して利用いただける施設運営に努め、さらにフェアフィールド・バイ・マリオット三重おおだいのオープンによる集客を道の駅消費額の増加につなげてまいります。
プロジェクト	情報発信、宿泊滞在環境の充実	【2024年】 349百万円			
概要	情報発信やインバウンド対応などの観光インフォメーション機能を強化するとともに、集客・立ち寄り拠点の「道の駅奥伊勢おおだい」及び宿泊滞在拠点の「奥伊勢フォレストピア」を拡充整備し、観光予定者等に対する誘引機能と訴求機能を向上して観光交流人口を拡大し、物販や飲食、体験等サービスなどの観光消費を拡大します。	実績			
		2020(R2)	140百万円		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

6	総合戦略の取組概要	KPI	R2年度の評価	R3年度の方向性	
担当課	産業課	奥伊勢フォレストピア入込客数	新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊施設の利用者は激減し、奥伊勢フォレストピアにおいても国の緊急事態宣言により、4月20日から5月末まで閉館、その後も部分営業や時短営業をせざるを得ない状況が続くなど大きく影響を受け、目標値を達成することは出来ませんでした。	新型コロナウイルス感染症の影響は、まだまだ続くことが予想されますが、徹底した衛生管理と三密回避の感染防止対策を実施し、安心して利用いただける施設運営に努め、さらにコロナ禍により人気が高まっているキャンプのサイト増設により集客増につなげてまいります。	
プロジェクト	「エコパークのまち」環境整備と観光誘致	【2024年】 77,000人			
概要	<p>従来からの観光資源のほか、アウトドア体験、農林漁業体験などの地域性を感じる滞在メニューによる観光誘致を進め、「エコパークのまち大台町」としての関心と知名度の向上を図り、町全体のブランド化に繋げていきます。</p> <p>このため「エコパークのまち」をコンセプトにした体験やツアー等の観光コンテンツと、その集客を町内に回遊する仕組みづくりを進めるとともに、それらが実施できる環境を整備します。</p>	実績			
		2020(R2)			50,858人
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
	2024(R6)				
		計			
7	総合戦略の取組概要	KPI	R2年度の評価	R3年度の方向性	
担当課	企画課	拠点運営者の仲介等を通じた開業数(累計)	令和2年度は、足場づくりの時期と位置づけ、地域内住民・関係者へのヒアリングやワークショップ、先行事例調査を実施し、現状把握と関係人口増加に向けた事業計画案を作成しました。このことにより、次年度以降の取組の方向性を見出しました。また、町内全域で空き家の外観調査を行い、空き家の現状を把握するとともに利活用可能と思われる物件をリストアップし、次年度以降の内観調査に繋げる準備が整いました。	令和2年度事業で作成した事業計画案をもとに、令和3年度事業を実施します。リストアップした利活用可能と思われる空き家の内観調査を実施し、空き家の利活用を進め、移住・定住の促進を図ります。ものづくりを生業とする、またはしたい人々を支援するため、それぞれの活動に応じた支援メニューの検討を行います。地域の活性化、まちづくりに資する事業として、人材育成のための教育プログラムの開発を進めます。	
プロジェクト	人が集い、繋がるまちづくり～遊休施設を活用した関係人口増プロジェクト～	【2024年】 8社			
概要	<p>空き家バンク・空き店舗バンク利用者(移住者・町民も含む)により“ものづくり”と“起業”が少しずつ起っています。この動きを更に促進させるために、旧川添郵便局をアーティストやクリエイターの活動拠点として整備・活用を図り、その他の沿道施設も機能拡充など改装改築を進め、地域として面的な魅力を高めます。</p>	実績			
		2020(R2)			3社
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
	2024(R6)				
		計			

8	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	教育課	漕艇場利用団体数		各高等学校と宮川ボートクラブが、土・日、長期休業期間を中心に多く利用をしていただきました。しかし、年間を通じて利用している団体が少ないため、小中学校行事としてのボート体験や小学生を対象とした水上スポーツ体験教室を開催するなど利用の増を図り、ある程度の成果は出たものと思われます。	国体の開催年度で、国体開催日までは休日等に多くの団体による利用(練習)が見込まれるため、事故等に注意するよう更に周知していきます。また、国体終了後も、積極的に漕艇場を利用できる施策を検討していきます。
プロジェクト	ボートのまち大台町への躍進プロジェクト	【2024年】10団体/年			
概要	三重県内唯一の漕艇場を有する「ボートのまち」という大台町の特徴を活かし、2021年に開催される三重とこわか国体を機に、ボート競技の振興を図るとともに、交流人口の拡大及び関係人口の創出から大台町の知名度アップへと繋がります。	実績			
		2020(R2)	7団体		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
計					

基本目標4 将来像を見据えた地域づくりでまちの魅力を最大限に発揮する

数値目標 住みやすいと思う人の割合 50%

9	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	企画課	拠点集約事業数		令和2年度は、ビジョンを検討する時期と位置づけ、高齢者層に対する聞き取り調査、若年層・起業家層に対するワークショップを開催し、ヒアリングを行いました。このことにより、役場中心の意見でなく、その地域で暮らす住民の声を確認することができ、次年度以降の検討材料として、より具体的な意見を収集することができました。	令和2年度に収集した意見や、令和3年度での引き続きのヒアリング実施により、地域の意見を十分に取り込んだ、ビジョンの策定を行います。 地域住民が本当に必要とする場所・モノ・コト、や持続可能な地域を形成するために必要となる対応を織り交ぜ、事業の大枠を形成し、拠点の基礎開発を進めます。
プロジェクト	小さな拠点で地域と人を繋ぐ	【2024年】7事業			
概要	高齢化や過疎化が進む地域では、商業施設等が減少するなど生活サービスの低下が進んでいます。そのため、行政、買い物、文化、医療等、日常のサービス機能を集約し拠点を形成するとともに、地域内の集落を地域公共交通ネットワークで結ぶことにより、地域住民が集いつながる機会を創出します。	実績			
		2020(R2)	0事業		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

10	総合戦略の取組概要	KPI		R2年度の評価	R3年度の方向性
担当課	生活環境課	ごみ減量化		令和2年度においては、前年8月から新たに開始された容器包装プラスチック類の分別が定着しつつあり、可燃ごみから資源ごみへの分別が進んだことから重量が減少しました。	可燃ごみの中には、まだ資源化できる紙類や容器包装プラスチック類の分別、生ごみの減量化を推進します。
プロジェクト	豊かな環境を未来につなぐ	【2024年】 564.0g／人日			
概要	<p>ユネスコエコパークに全域を認定された当町では、自然との共生を図りながら、循環型社会と低炭素社会に向けた取り組みを統合的に展開することで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>人口減少が進む中、超高齢社会を迎える当町では、生前整理や遺品整理によるごみの増量が懸念されます。また、可燃ごみの中には、分別をすれば資源化できる可能性のあるものやごみ重量の多くを占める生ごみについても、食品ロスの削減、減量、資源化の余地があります。このような中で、令和2年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、循環型社会の形成に向けた取り組みをさらに促進します。</p>	実績			
		2020(R2)	601.0g／人日		
		2021(R3)			
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
計					